

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

2024年11月19日



三井住友建設

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

I. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

〔2024年11月12日公表〕

II. 損失の発生とその対応について

III. 業績の回復に向けて

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

I. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

〔2024年11月12日公表〕

II. 損失の発生とその対応について

III. 業績の回復に向けて

決算のポイント

事業環境

- 建設投資は公共・民間ともに底堅く推移、暫くは同様の流れが続く見通し
- 建設資機材価格及び労務需給の動向など**不透明な事業環境が継続**

FY24 2Q実績

経営成績

- 連結・個別とも**営業赤字**
連結営業利益△68億円
(前年同期比△156億円)

赤字決算の要因

- 国内大型建築工事において、**追加損失を計上△131億円**
(累計△757億円)

FY24 通期予想

売上高

- **期首予想から変更なし**
- 手持ち工事の順調な進捗を見込む

各利益項目

- **期首予想を大幅に下方修正**
連結当期純利益△80億円
(期首予想比△125億円)

決算概要－連結・個別損益計算書

■ 国内大型建築工事の損失計上により連結・個別とも営業赤字

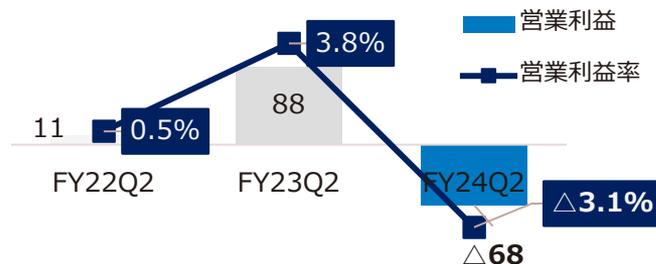
(単位:億円)

	連結				個別			
	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	FY24 2Q実績	前年同期比	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	FY24 2Q実績	前年同期比
売上高	2,106	2,306	2,183	△124	1,585	1,652	1,562	△90
売上総利益	143	219	63	△156	95	156	0	△155
一般管理費	132	131	131	0	85	82	83	+1
営業利益	11	88	△ 68	△156	10	73	△ 82	△156
営業利益率	0.5%	3.8%	△ 3.1%	△6.9pt	0.6%	4.4%	△ 5.3%	△9.7pt
経常利益	11	84	△ 93	△176	20	97	△ 93	△191
親会社株主に帰属する 当期純利益	2	52	△ 146	△198	16	72	△ 140	△213

連結売上高



連結営業利益



連結業績－セグメント別

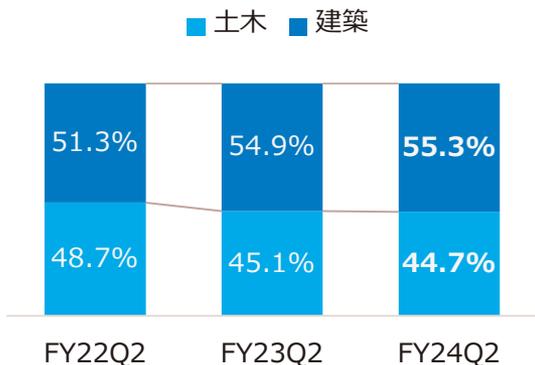
■ 土木・建築とも売上高・利益は前年同期比で減少

セグメント別売上高

(単位:億円)

	FY22	FY23	FY24	前年 同期比
	2Q実績	2Q実績	2Q実績	
土木	1,027	1,043	976	△67
建築	1,083	1,270	1,207	△63
その他	△4	△7	△0	+7
合計	2,106	2,306	2,183	△124

売上高 構成比 (土木・建築別)

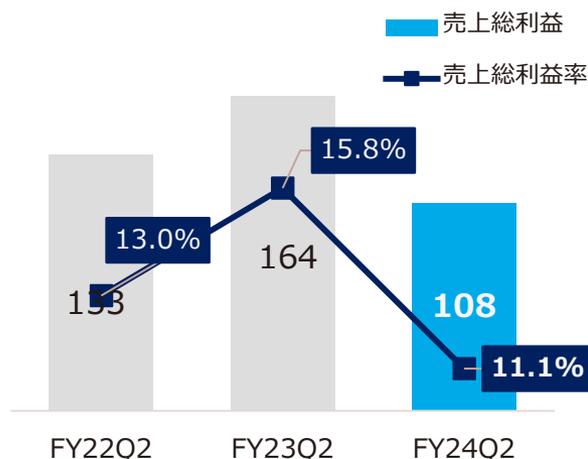


セグメント別売上総利益

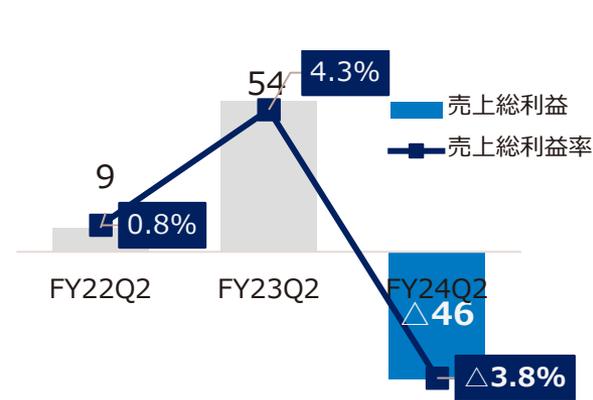
(単位:億円)

	FY22	FY23	FY24	前年 同期比
	2Q実績	2Q実績	2Q実績	
土木	133	164	108	△56
建築	9	54	△46	△101
その他	1	0	1	+1
合計	143	219	63	△156

土木セグメント売上総利益 推移



建築セグメント売上総利益 推移



連結業績－国内・海外別

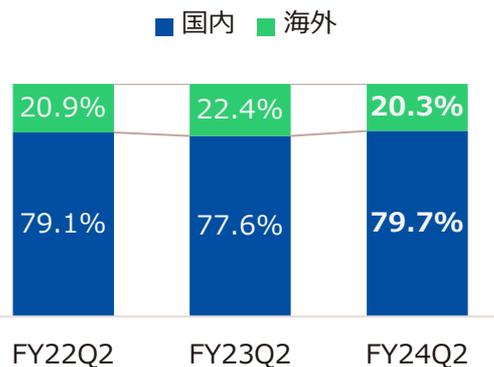
■ 海外売上高・利益は前年同期比で減少 ※前年同期は為替が寄与

国内・海外別売上高

(単位:億円)

	FY22	FY23	FY24	前年
	2Q実績	2Q実績	2Q実績	同期比
国内	1,665	1,790	1,741	△50
海外	441	516	442	△74
(構成比)	(20.9%)	(22.4%)	(20.3%)	(△2.1pt)

海外売上高 推移



国内・海外別売上総利益

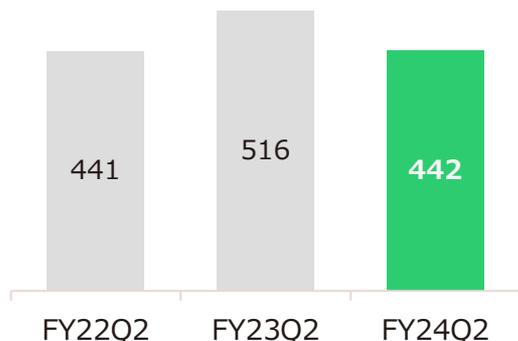
(単位:億円)

	FY22	FY23	FY24	前年
	2Q実績	2Q実績	2Q実績	同期比
国内	116	151	34	△116
海外	27	69	29	△40
(構成比)	(18.9%)	(31.3%)	(46.0%)	(+14.7pt)

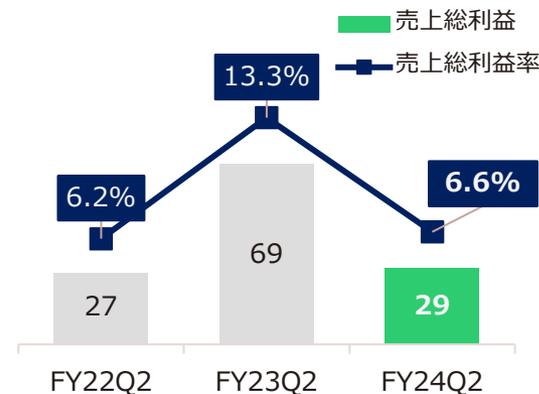
海外売上高 (国別)

FY24-2Q実績	
フィリピン	97
インド	74
インドネシア	64
シンガポール	50
その他	157
海外合計	442

海外売上高 推移



海外売上総利益 推移



個別業績－建設受注高

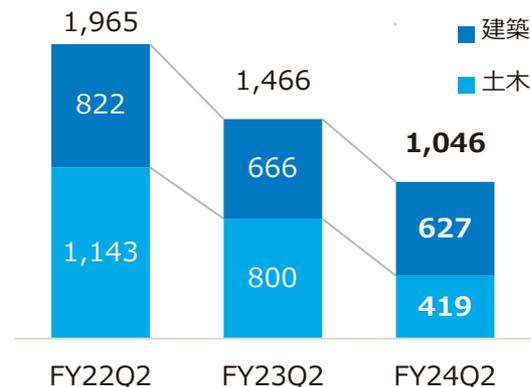
■ 前年同期比で減少するも、概ね想定通りの進捗

個別建設受注高

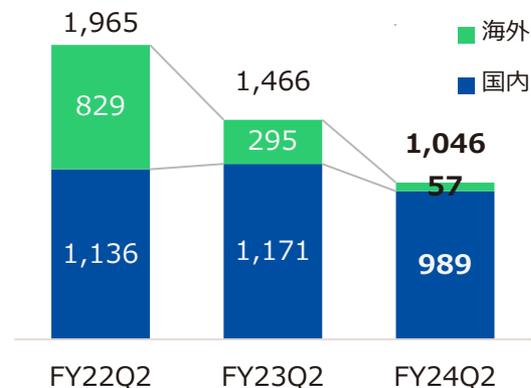
(単位：億円)

	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	FY24 2Q実績	前年同期比
国内官公庁	299	495	285	△209
国内民間	91	99	95	△3
海外	753	207	39	△169
土木	1,143	800	419	△381
国内官公庁	33	47	30	△17
国内民間	713	531	578	+47
海外	76	87	19	△69
建築	822	666	627	△39
国内官公庁	332	542	315	△227
国内民間	804	630	674	+44
海外	829	295	57	△238
合計	1,965	1,466	1,046	△420
海外(現地法人含む)	(1,000)	(410)	(281)	(△130)

受注高 推移 (土木・建築別)



受注高 推移 (国内・海外別)



個別業績－完成工事高

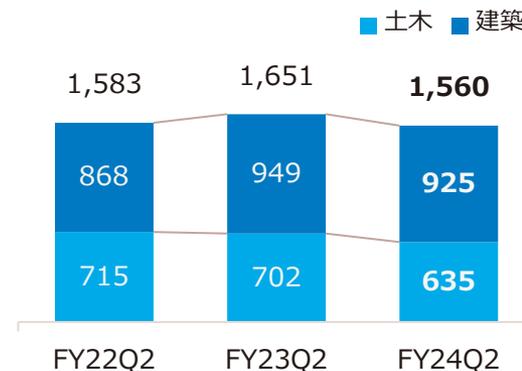
■ 完成工事高は前年同期比で微減、繰越工事の消化が進捗

完成工事高

(単位:億円)

	FY22 2Q実績	FY23 2Q実績	FY24 2Q実績	前年同期比
土木	715	702	635	△66
建築	868	949	925	△24
完成工事高	1,583	1,651	1,560	△90

完成工事高 推移 (土木・建築別)

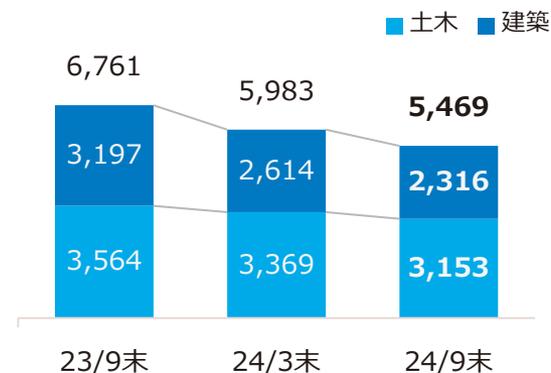


繰越工事高

(単位:億円)

	23/9末 実績	24/3末 実績	24/9末 実績	前期末比
土木	3,564	3,369	3,153	△216
建築	3,197	2,614	2,316	△298
繰越工事高	6,761	5,983	5,469	△514

繰越工事高 推移 (土木・建築別)



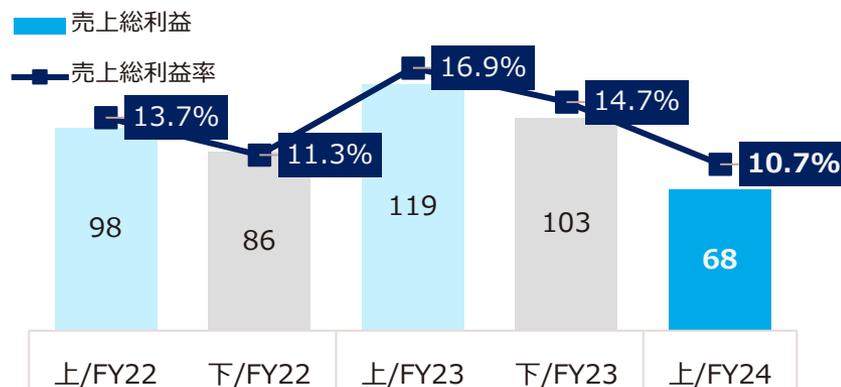
個別業績 – 完成工事総利益

■ 建築工事利益率は国内大型建築工事の影響を除けば回復傾向

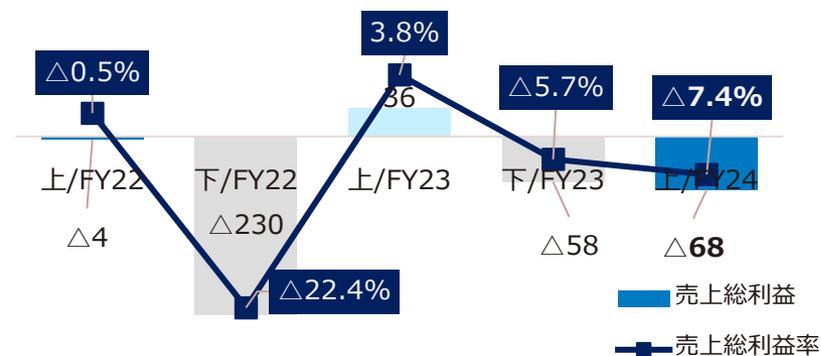
(単位:億円)

	FY22		FY23		FY24	前年同期比
	上期	下期	上期	下期	上期	上期
土木	98 13.7%	86 11.3%	119 16.9%	103 14.7%	68 10.7%	△51 △6.2pt
建築	△4 △0.5%	△230 △22.4%	36 3.8%	△58 △5.7%	△ 68 △ 7.4%	△105 △11.2pt
国内大型建築工事	△62	△246	△5	△88	△ 131	△126
その他	58 7.2%	16 1.6%	41 4.6%	29 3.1%	62 7.3%	+21 +2.7pt
完成工事総利益	94 5.9%	△143 △8.0%	155 9.4%	44 2.6%	△ 0 △ 0.0%	△155 △9.4pt

土木売上総利益 推移



建築売上総利益 推移



連結財政状態/キャッシュ・フロー

■ 工事資金の立替基調が継続し、有利子負債は増加

連結財政状態/キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	23/9末 実績	24/3末 実績	24/9末 実績	前期末比
資産合計	3,969	4,116	4,390	+274
（現預金）	(607)	(967)	(772)	(△195)
負債合計	3,181	3,344	3,767	+423
（有利子負債）	(945)	(802)	(1,438)	(+636)
純資産合計	787	772	623	△ 148
（自己資本）	(711)	(698)	(549)	(△148)

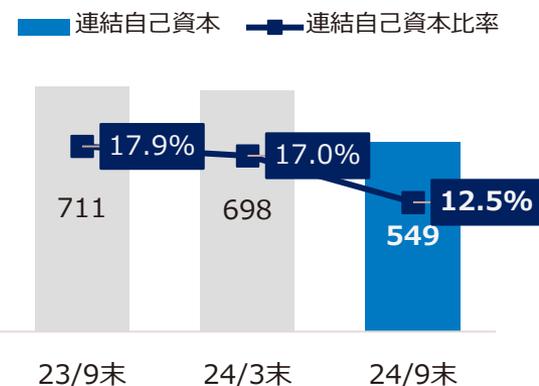
自己資本比率	17.9%	17.0%	12.5%	△4.5pt
--------	-------	-------	--------------	--------

	23/9末 実績	24/3末 実績	24/9末 実績
営業C F	△227	215	△778
投資C F	99	135	4
財務C F	75	△75	605
期末現金同等物	571	896	730

連結貸借対照表 概略図



連結自己資本 推移



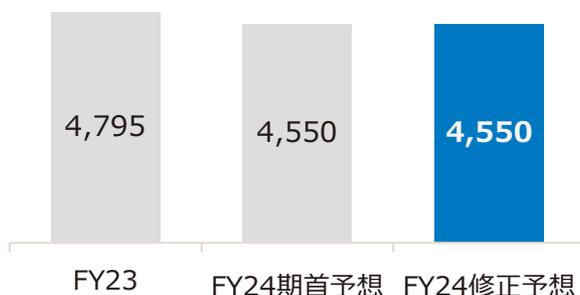
通期業績予想

■ 第2四半期業績を踏まえ、連結・個別の各利益項目を下方修正

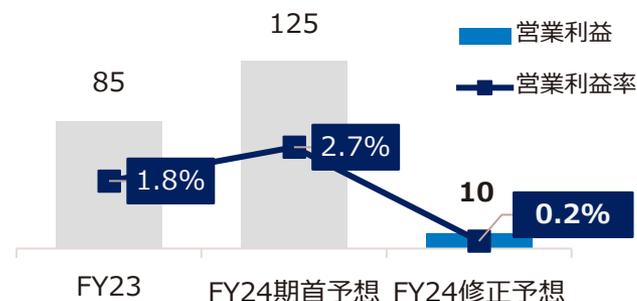
(単位:億円)

	連結				個別			
	FY23 実績	FY24 期首予想	FY24 修正予想	期首予想比	FY23 実績	FY24 期首予想	FY24 修正予想	期首予想比
売上高	4,795	4,550	4,550	+0	3,372	3,103	3,103	+0
売上総利益	351	405	290	△115	200	250	140	△110
一般管理費	266	280	280	+0	166	180	180	+0
営業利益	85	125	10	△115	34	70	△40	△110
営業利益率	1.8%	2.7%	0.2%	△2.5pt	1.0%	2.3%	△1.3%	△3.5pt
経常利益	63	80	△45	△125	45	50	△65	△115
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	45	△80	△125	45	40	△80	△120

連結売上高



連結営業利益



通期業績予想－個別

■ 総利益の減少に加え、為替差損や金融費用の増加等を反映

(単位:億円)

	FY23 実績	FY24 期首予想	FY24 修正予想	期首予想比
土木	1,306	800	800	0
建築	1,101	1,000	1,000	0
受注高	2,407	1,800	1,800	0
土木	1,402	1,400	1,300	△100
建築	1,967	1,700	1,800	+100
その他	3	3	3	0
売上高	3,372	3,103	3,103	0
土木	221	178	178	0
	15.8%	12.7%	13.7%	+1.0pt
建築	△22	71	△39	△110
	△1.1%	4.2%	△2.2%	△6.3pt
その他	1	1	1	0
売上総利益	200	250	140	△110
売上総利益率	5.9%	8.1%	4.5%	△3.5pt
一般管理費	166	180	180	0
営業利益	34	70	△40	△110
営業利益率	1.0%	2.3%	△1.3%	△3.5pt
経常利益	45	50	△65	△115
当期純利益	45	40	△80	△120

受注高

土木・建築ともに
期首予想から変更なし

売上高

手持ち工事の進捗を鑑み修正
土木：期首予想比△100億円
建築：期首予想比+100億円

売上総利益

追加損失の計上等により、
建築：期首予想比△110億円
(国内大型建築工事△131億円)

当期純利益

期首予想比△120億円
(為替差損・金融費用の増加等)

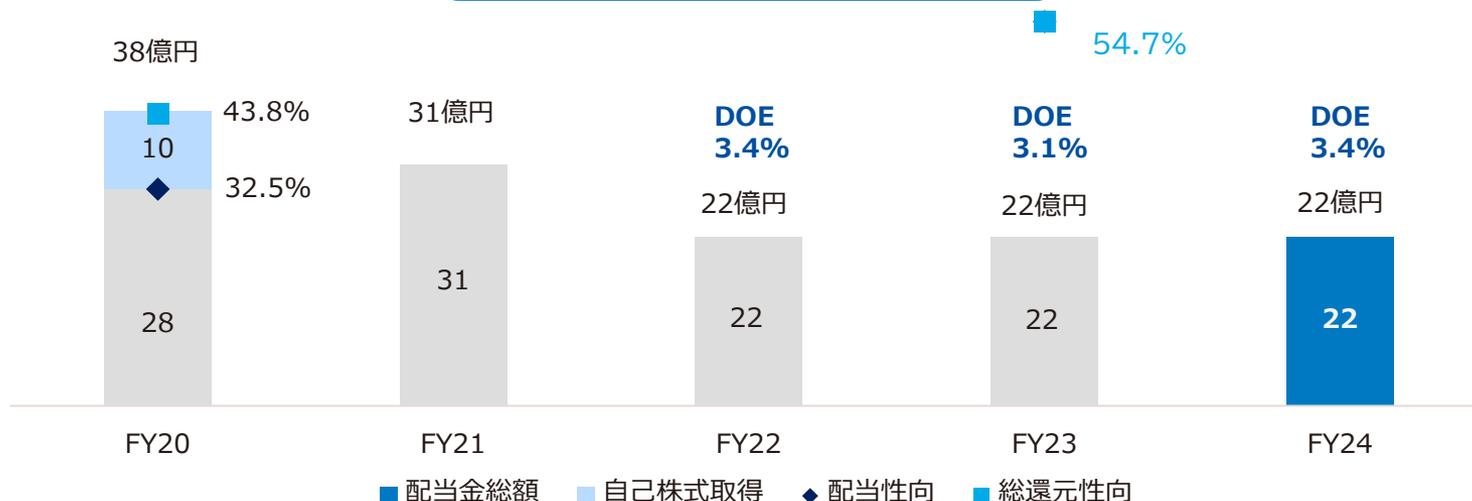
株主還元（予想）

- 総還元性向50%を目安に、自己資本配当率(DOE)3%を下限値として安定した株主還元を実施
- 1株当たり期末配当金は14.0円を予定（期首予想から変更なし）

(単位：億円)

	年間配当金（円）			配当性向 （連結）	自己資本 配当率(連結)	総還元性向 （連結）
	第2四半期末	期末	合計			
FY22	0.00	14.00	14.00	-	3.4%	-
FY23	0.00	14.00	14.00	54.7%	3.1%	54.7%
FY24(予想)	0.00	14.00	14.00	-	3.4%	-

配当性向・総還元性向の推移

1株当たり
配当金

18円	20円	14円	14円	14円
-----	-----	-----	-----	-----

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

I. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

〔2024年11月12日公表〕

II. 損失の発生とその対応について

III. 業績の回復に向けて

国内大型建築工事の状況

- 難度の高い工事において、大幅な工程遅延と度重なる損失を計上
- 躯体工事は概ね施工完了、2025年8月竣工に向け、工程通り進捗中



施工推進体制強化により、急速施工を実現

- ✓ 本店に特別対応チーム、支店に特別対応部を設置
- ✓ 国内支店から、現場およびプレキャスト部材製造工場に人的リソースを投入
→ 部材製造の品質および工程管理を徹底し、
「1フロアの躯体を3日で構築」を実現

2024年9月 上棟

- ✓ 躯体工事は概ね施工完了
現在は仕上工事や付帯工事を中心に施工中
- ✓ 2025年8月竣工に向けて、修正後工程通り進捗中
工事は既に8割近く進捗

工事完成までの全てのコストを改めて精査

FY2021 Δ 219億円

FY2022 Δ 315億円

FY2023 Δ 92億円

FY2024

Δ 131億円 (累計 757億円) ※違約金等を含む

躯体工事完了に伴う工事費の精算、仕上工事に係る建設コストの見直し、工程及び品質確保のため技術社員体制の見直しなどを踏まえた結果、更なる追加損失を計上

※今般の見直しによって、完成までのコストは概ね確定

国内大型建築工事による業績への影響

■ 当該工事の影響により、2021年度以降の業績は低迷

(億円)

	2021		2022		2023		2024	
	期首予想	実績	期首予想	実績	期首予想	実績	期首予想	予想
売上高	4,320	4,033	4,650	4,586	4,630	4,795	4,550	4,550
営業利益(下記工事除く)	185	144	160	127	130	177	125	141
国内大型建築工事	-	△219	-	△315	-	△92	-	△131
営業利益(再計)	185	△75	160	△188	130	85	125	10

※各年度の業績数値は期首公表数値および実績(2024年度は見込)



国内大型建築工事における多額の損失計上を主要因として、2021年度以降、各年度とも業績予想は大幅に未達

※2021～22年度は、急激な物価上昇等により手持工事の採算が悪化（主に国内建築工事）

※2023～24年度は、採算重視の取り組み徹底により、当該工事を除く採算は回復基調

国内建築事業の採算回復に向けた取組み

■ 度重なる損失発生を受け、再発防止策への取組みを徹底

国内大型建築工事

- ✓ 現場支援体制の再構築
- ✓ 外部専門家による不具合検証と再発防止策の提案・実施
- ✓ 工場間における不具合情報共有の徹底

工事は修正後工程に対し、
工程通り順調に進捗中

受注

- ✓ 施工体制を勘案した、受注量の一時的な抑制
- ✓ 受注プロセスにおける審査の充実化
- ✓ 体制・工程の事前検討の徹底

新規受注工事は、
所定の利益水準を確保

リスク管理体制

- ✓ 大規模工事における継続的なモニタリングの徹底
- ✓ リスク情報の早期共有
- ✓ 品質確保の重要性に関する教育強化

大きな損益悪化の発生なし

上記取組みにより、建築事業の採算回復は着実に進展

2025年3月期 第2四半期 決算説明会

I. 2025年3月期 第2四半期 決算概要

〔2024年11月12日公表〕

II. 損失の発生とその対応について

III. 業績の回復に向けて

業績の見通し

■ 2025年度以降、業績の回復を軌道に乗せ、企業価値の向上を目指す

※2025-2027年度の「見通し」は現時点の想定値。

詳細は次期中期経営計画（2025年5月公表予定）において確定（億円）

	現・中期経営計画期間			次期中期経営計画期間(見通し)※		
	2022実績	2023実績	2024見込	2025	2026	2027
売上高	4,586	4,795	4,550	4,100	4,200	4,400
営業利益	△188	85	10	155	170	200
利益率	△4.1%	1.8%	0.2%	3.8%	4.0%	4.5%
当期純利益	△257	40	△80	75	95	110
利益率	△5.6%	0.8%	△1.8%	1.8%	2.3%	2.5%
自己資本利益率 (ROE)	△33.2%	6.0%	△12%程度	13%程度		



中期経営計画
2022-2024
新たな成長へ

中期経営計画
2025-2027

2025年5月
公表予定

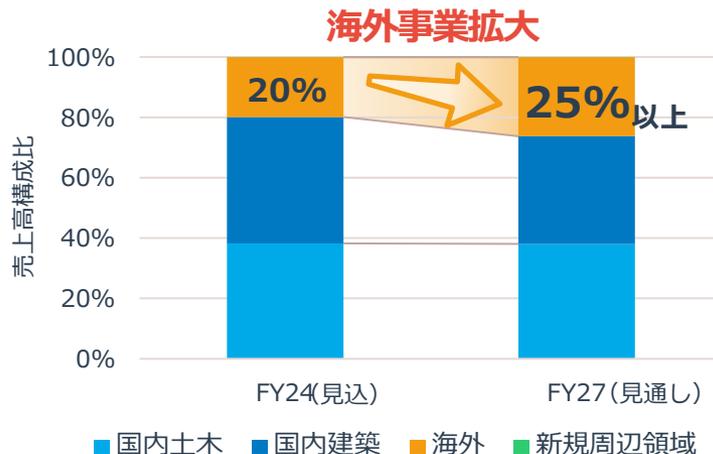
事業別の方向性

国内土木：堅調

国内建築：再生

海外：成長

新規周辺領域：創出



事業の方向性

※各事業の方向性は次期中期経営計画
(2025年5月公表予定)において確定

- 堅調な土木事業と海外事業の着実な拡大と、建築事業の採算回復により業績改善を目指し、信頼の回復と企業価値の向上を図る

国内土木事業

- ✓ 強みのPC橋梁を軸に、業績は安定的に推移
- ✓ 高速道路の大規模更新事業は国内トップクラスのシェア

堅調

優位分野を維持しつつ、新たな強みの創出へ

国内建築事業

- ✓ 再発防止策の徹底により、昨年度以降の受注工事は所定の利益を確保
- ✓ 過去の低採算工事との入れ替えは着実に進行中

再生

良質案件への入れ替えによる、採算向上へ

海外事業

- ✓ 土木はODA案件を軸に、建築は日系企業案件を中心に売上拡大
- ✓ 2023年度には過去最大の売上高に到達

成長

成長ドライブとして、更なる拡大へ

新規周辺領域事業

- ✓ 水上太陽光発電事業の適地拡大
- ✓ 社内アイデア公募制度や災害レジリエンス強化等により新しい価値を提供

創出

新たな事業領域への成長投資を実行

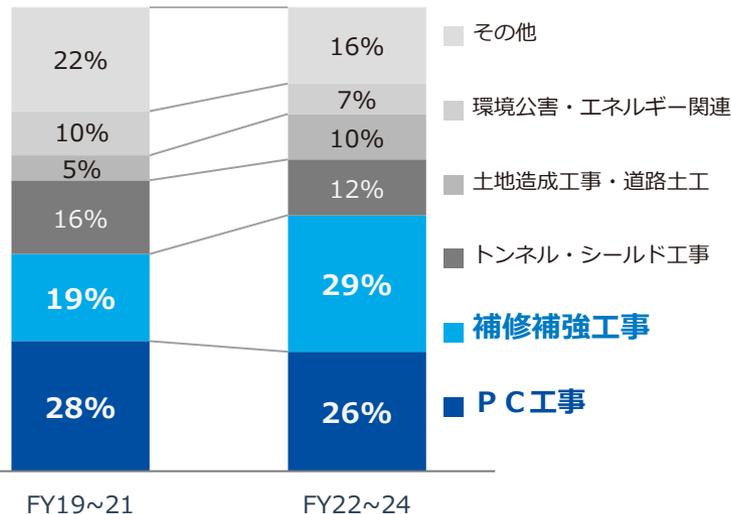
国内土木事業

※各事業の方向性および目標数値は次期中期経営計画（2025年5月公表予定）において確定

■ 優位分野を維持しつつ、新たな強みの創出へ

完工高工種 割合

※24年度は2Qまで



大規模更新事業は土木事業の柱として確立



強みの維持 安定的な収益確保

- ・業績は堅調に推移
- ・強みとしてPC橋梁と大規模更新事業にて安定収益確保

事業の深化と新たな強みの創出

- ・橋梁やトンネルなどで省力化に向けた取り組みが進展
- ・将来に向けた新たな強みの創出へ（エネルギー分野など）

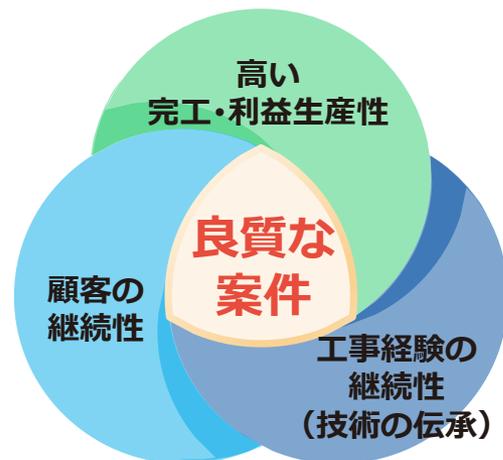
国内建築事業

※各事業の方向性および目標数値は次期中期経営計画
(2025年5月公表予定) において確定

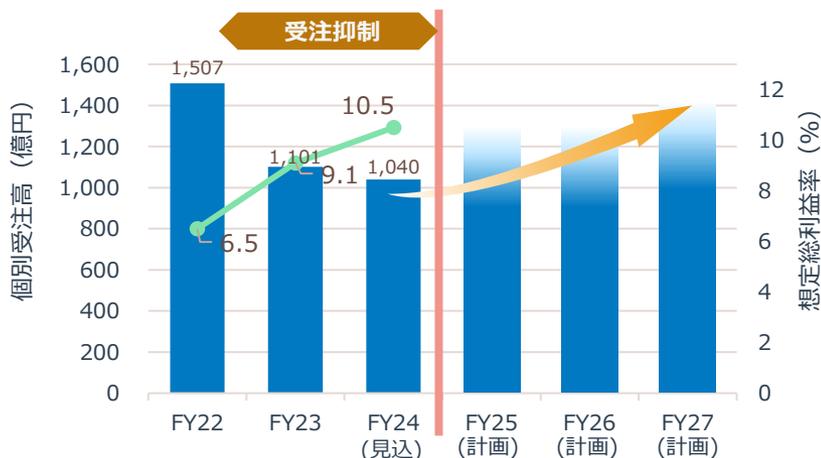
国内大型建築工事の竣工と施工体制の再構築により、事業基盤を強化 コア事業として構造改革を継続し、建築事業の再生を目指す

受注コントロールにより良質な案件に注力

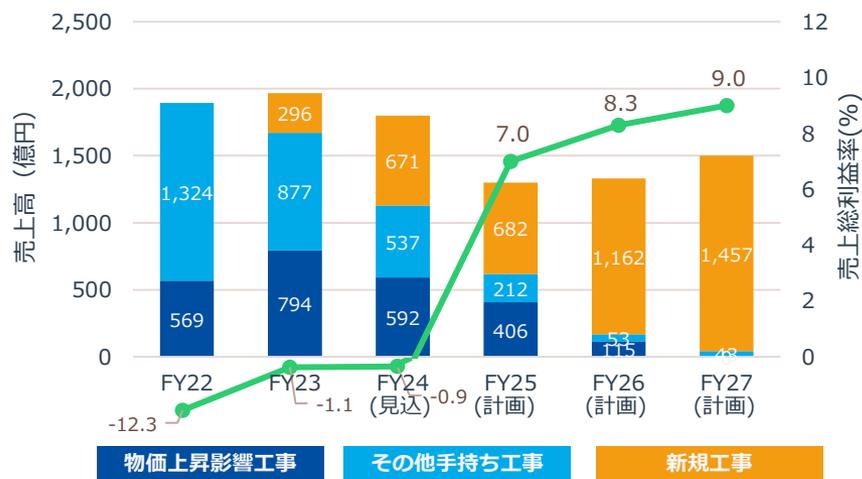
- ・ 手持ち工事の着実な消化と施工体制逼迫の解消を目的に、新規着工工事の受注をコントロール
- ・ **採算を重視した受注方針を徹底し、過去の低採算工事から良質な新規工事への入れ替えは着実に進行中**
- ・ **2025年以降、施工体制にあわせた良質な工事受注により、一時的に縮小した事業規模の回復を図る**



受注高の推移と見込み



採算を確保した新規工事への入れ替え



海外事業

※各事業の方向性および目標数値は次期中期経営計画
(2025年5月公表予定) において確定

■ 成長ドライブとして2027年度には連結売上の25%以上を目指す

海外売上高推移



過去最高売上高に到達

- ・ 土木はODA案件を軸に、建築は日系企業案件を中心に売上拡大
- ・ 2023年度に過去最大の売上高に到達、今後も海外建設需要は更に増加

更なる成長に向けた新たな取り組み

- ・ 国内優位技術を海外に展開
- ・ 教育体系や人員体制を拡充



工事名：ジャカルタ高速鉄道建設工事（第2期）
CP203工区(インドネシア)

施主名：ジャカルタ高速鉄道株式会社



工事名：Design & Construction of Healthcare
Manufacturing Facility – Project Horizon(インド)

施主名：OMRON HEALTHCARE MANUFACTURING INDIA
PRIVATE LIMITED(オムロンヘルスケア株式会社)

新規・周辺領域事業

※各事業の方向性および目標数値は次期中期経営計画
(2025年5月公表予定)において確定

- 強みの水上太陽光発電事業を軸に、人材の成長と企業の成長に繋がる新たな事業領域への成長投資を実行

水上太陽光発電事業の適地拡大

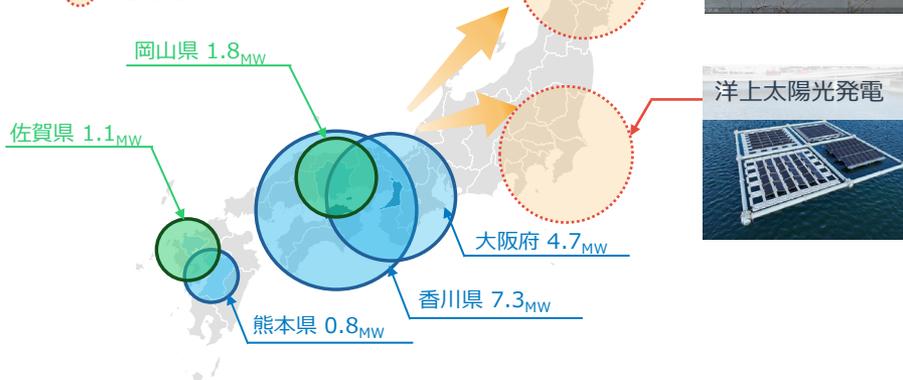
強みである独自の太陽光発電フロートと、設計～保守までワンストップで手掛けるビジネスモデル

適地拡大に向けた技術開発を推進

太陽光発電容量 (2024年9月現在)

15.9 MW

- : 陸上太陽光発電所 (2か所)
- : 水上太陽光発電所 (7か所)
- : 適地拡大企図エリア



新規事業の創出

社内アイデア公募制度「Plus One Challenge」をはじめ、災害レジリエンス強化等、新しい価値を提供

新規事業への挑戦・成果を通じた人材の成長と、事業領域拡大による企業の成長の両立を目指す



Topics

Plus One Challenge から事業化へ

AIを活用した樹木診断システム「tree AI (ツリーアイ)™」開発に着手



茨城県と覚書を締結し、同県内でシステムの実証実験を開始

企業価値向上に向けた社内改革

■ 柔軟で迅速な意思決定と風通しのよい職場環境の実現に向けた改革を実行

経営組織のスリム化・効率化
～トップダウンによるガバナンス改革～

社内改革タスクフォースの設置
～ボトムアップ、ミドルアップでの改革～

経営組織・体制

- ✓ 透明性が高い経営
- ✓ 多様な価値観の経営への反映

▶ 経営組織の最適化による
ガバナンス強化

人事制度の 抜本的改革

- ✓ 能力・実績主義型の人事制度
- ✓ 納得感のある公正な人事評価

▶ 社員のモチベーション・
エンゲージメント向上

意思決定の 迅速化

- ✓ 権限と責任の委譲
- ✓ 効率的で無駄のない組織

▶ 迅速な意思決定

社内規律改革

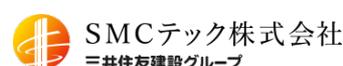
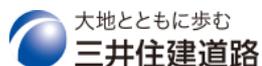
- ✓ 旧来の慣行の見直し
- ✓ 信賞必罰等

▶ 風通しの良い職場環境の構築

フラットでオープンな企業風土を構築し、企業価値向上へ



三井住友建設



お問い合わせ先

経営企画本部 企画部

Tel. 03-4582-3016

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。